

2018. 10. 9

一般社団法人静岡県信用金庫協会

第48回県内12信用金庫連携による合同景況調査結果

一般社団法人静岡県信用金庫協会（会長 御室 健一郎）は、平成17年10月以降、県内12信用金庫連携による合同景況調査を実施しています。

各信用金庫が協力して取引先企業1,384社にアンケート調査を実施し、1,374社から得た回答（有効回答率99.3%）をもとに、県内経済を支える地元企業を広く網羅して分析したものです。

静岡県信用金庫協会では、地域に密着した信用金庫ならではの情報提供を通じて地域に貢献し、信用金庫の存在意義を高めていきたいと考えております。

「県内中小企業等の景況感DIは小幅な改善」

【概 況】

平成30年7～9月の県内中小企業等の業況DI（企業の景況感を示す、「良い」とする企業割合から「悪い」とする企業割合を引いた数値）は、前回調査時（平成30年4月～6月「以下同じ」）の▲3.1から▲1.0へと2.1ポイントの小幅な改善となった。

業種別にみると、製造業、建設業、不動産業がプラス水準を維持したほか、サービス業（前回調査▲18.2→今回調査0.7）がプラス化、小売業（▲28.4→▲20.3）が改善したものの、卸売業（▲11.3→▲13.8）が悪化となった。

これを地区別の業況DIで見ると、東部地区、中部地区がマイナス幅が縮小し改善したものの、西部地区ではプラス幅が縮小した（地区別の詳細は次頁のとおり）。

なお、各地区とも人手不足感の深刻化、原材料費、仕入価格の高騰などを経営課題として掲げている。

県内合計及び地区別DIの推移（全産業）

	2016年		2017年				2018年			
	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12 (見通し)
東部地区	▲19.0	▲13.0	▲18.8	▲20.7	▲7.5	▲3.9	▲12.0	▲18.8	▲5.8	▲2.2
中部地区	▲7.3	0.6	▲10.4	▲2.7	4.4	6.7	▲6.3	▲2.3	▲1.3	6.3
西部地区	▲16.5	▲9.6	▲2.9	▲3.0	▲0.8	7.5	3.9	4.5	1.5	6.0
県内計	▲15.8	▲9.2	▲8.7	▲8.5	▲2.1	3.9	▲2.2	▲3.1	▲1.0	3.9

なお、平成30年10～12月の業況見通しは、西部ではプラス幅が拡大、中部ではプラス化、東部ではマイナス幅が縮小する見通しとしていることから、県全体では、3.9のプラス化予想となっている。

■ 東部地区

東部では、製造業が 13.7 ポイント(2.0⇒15.7)とプラス幅を拡大したほか、小売業が 12.7 ポイント(▲42.5⇒▲29.8)、サービス業が 26.6 ポイント(▲34.0⇒▲7.4) 不動産業が 7.1 ポイント(▲7.1⇒0.0)、建設業が 7.0 ポイント(▲12.3⇒▲5.3)、卸売業が 6.5 ポイント(▲22.6⇒▲16.1) とすべての業種において改善され、結果として全業種ベースにおける業種 DI も前回調査時の▲18.8 から▲5.8 へと 13.0 ポイント改善される結果となった。

製造業

業況は、原材料価格の上昇や人手不足はみられるが、売上・受注も増加していることから収益は確保できており 2 桁のプラス水準となった。人手不足を深刻な問題としている企業が多い。

今後の見通し（平成 30 年 10～12 月期・以下同じ）としては、原材料価格の上昇は落ち着き感もあり、売上・受注も増加傾向であることから、収益も確保でき、業況も引続き安定し改善を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・親会社の好調により受注は大幅に増加している反面、人材の確保が難しく、残業・休日出勤が増加し、経費が嵩んでいる。外国人労働者も雇用しながら対応している。（自動車用配管製造業）
- ・従業員の経理事務のスキルアップ、世代交代を視野に社内ルールの整備を図っている。（プラスチック加工業）
- ・電気料金の値上げが収益に与える影響を危惧している。（加工紙・板紙製造業）
- ・人手確保が難しくなっており、作業用ロボットを設備し、対応し始めている。（プラスチック・自動車部品製造業）

卸売業

業況は、仕入価格は上昇しているが、売上の増加・販売価格の上昇もあり、業況は改善となった。

今後の見通しとしては、仕入価格は上昇傾向であるが、売上の増加・販売価格が上昇することで収益も増加し、業況 DI のプラス化を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・外国から仕入れた食品・日用品の卸売業であり、為替の影響を受ける面は課題としてある。売上が減少しており、商品の品揃えに力を入れる意向である。（食品・日用品卸売業）
- ・海産資源の乱獲により漁獲量が激減、海面温度の上昇も深刻である。（水産卸売業）
- ・台風や豪雨などの自然災害の影響により、仕入単価が上昇している。（青果卸売業）
- ・海外からの安価な材木が流通し、競争が激化していることと、木材を利用した住宅等の建築棟数が減少しており厳しい業況が続いている。また代表者が高齢であり、後継者の選定が課題である。（建築材料卸売業）
- ・中国で古紙の規制がかかっており、海外向け古紙の値段が上がっている。パルプも同様に販売価格が上がっており、景気は上向きになると考えている。（古紙卸売業）

小売業

業況は、大型量販店の進出・攻勢等もあり、売上は伸び悩んだ感もあるが、販売価格が上昇したことで改善となった。業況 DI のマイナス水準は高く厳しい状態は続いている。

今後の見通しとしては、仕入価格は上昇が続くと見ているが、年末商戦に向けた売上の回復の期待感もあり、改善を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・地元農家の減少に伴い、農機具の販売及び修理も減少傾向にある。顧客の高齢化に伴い、新製品の販売実績も少ない。（農産業機械販売・修理業）
- ・SNS で新商品等発信するも、売上に結びついていない。（和菓子の製造・販売業）
- ・原料原産地表示制度の開始に伴い、大手が国産品に切り替え始めたため、国産品の確保に苦慮している。（食料品小売業）
- ・プラモデルやミニ四駆等の玩具を子供の時代に慣れ親しんでいた現 40 歳代の人達が再び購入をしている。（模型小売業）

サービス業

業況は、材料価格は上昇したが、料金価格への転嫁もあり、売上・収益ともに増加したことから改善となった。

今後の見通しとしては、材料価格は落ち着き感もあるが、今期の反動もあり、売上・収益ともに減少することから

悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・ 平日の宿泊代金を休日並みとしたが、影響は少なく、増収増益傾向にある。(旅館業)
- ・ 自動車修理にかかる売上等は例年並み、付加価値の高い高級スポーツカー整備販売が売上利益に寄与した。(自動車整備)
- ・ カット以外にもネイルサロン・キッズスペース等、差別化を図る。(美容業)
- ・ 低価格店が台頭しているが、高品質の商品提供により、競合店との差別化を図っている。(飲食業)

建設業

業況は、材料価格は上昇、競争も激化しており請負価格も減少しているが、受注の増加に伴い、売上も増加したことから改善となった。

今後の見通しとしては、受注確保に向け活動するも競争は激化しており、売上・収益の減少により悪化を見込んでいる

(事業者の声)

- ・ 業況は良い傾向にあり、売上や受注状況は増加傾向にあるが、下請けや人材の確保に苦慮している。(土木・建築一式工事業)
- ・ 職人の高齢化、若手の育成が経営上の課題。木材の仕入れ値が上昇している。(土木建築・請負業)
- ・ 人手不足が深刻であり、それに伴い受注機会も失うこともある。(総合建設業)
- ・ 収益性の高いリフォームを中心に営業しているが、売上減少が続いている。(一般建築業)

不動産業

業況は、経常的な商品物件の不足により同業者間の競争の激化等の問題もあるが、全体的には前回調査時に比べ改善している。

今後の見通しとしては、同業者間の競争や商品の不足感等の問題に加え、今期の反動もあり、悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・ 若年層に向けた分譲を計画。若年層では1区画50坪では広すぎるため35～38坪程度まで縮小し、金額を下げた方が売れ行きが良い。(不動産仲介・売買業)
- ・ 新東名・足柄スマートIC工事に伴う開発に期待している。(不動産販売・仲介業)
- ・ 大学の移転に伴い、ワンルームを中心に空室が拡大している。(不動産仲介業)
- ・ 同業他社との競争が激しい。需給バランスの良い地域に限定した宅地分譲販売を行う方針である。(不動産売買業)

■中部地区

中部では、サービス業が22.8ポイントとプラス化(▲20.5⇒2.3)したほか、製造業が1.4ポイント(1.4⇒2.8)、建設業が8.8ポイント(12.5⇒21.3)それぞれプラス幅を拡大したものの、卸売業が▲10.4ポイント(▲6.3⇒▲16.7)、小売業が▲8.4ポイント(▲17.6⇒▲26.0)と悪化したほか、不動産業が▲7.2ポイント(16.7⇒9.5)とプラス幅を縮小したことから、全産業ベースの業況DIは前回調査時の▲2.3から▲1.3と、概ね横這いの推移となった。

製造業

業況は、人手不足に加え、原材料価格の大幅な上昇から、収益性の悪化はみられるものの、業況DIはプラス水準を維持した。

今後の見通しとしては、原材料価格の上昇は引き続き見込むものの、売上、受注の増加から、業況DIはプラス幅が大幅に拡大し改善の見込み。

(事業者の声)

- ・ 仕入先が人手不足の状況のため、仕入価格が高騰することを懸念している。(食品製造業)
- ・ 売上は安定しているが、原材料の値上がりを危惧している。(印刷材製造業)

- ・人手不足により事業キャパシティの限界への対応が今後の課題となる。(金属加工)
- ・取引先から、より高度かつ精密さが求められ、対応できる機械設備の導入、従業員のスキルアップが、これまでに必要となっている。(アクリル製品製造業)
- ・取引先からの引き合いは旺盛だが、人材の確保、機械の更新等が追いつかない。(環境プラント製造業)
- ・安全ニーズの高まりによって工場内における異物混入防止対策等の厳しい管理が求められている。(製茶業)
- ・気候変動により野菜の価格が安定せず、原材料価格が上昇している。(惣菜製造業)

卸売業

業況は、仕入価格の大幅な上昇、売上の減少から、悪化している。

今後の見通しとしては、依然として仕入価格の上昇は懸念されているものの、売上の増加、販売価格の上昇を期待しており、改善の見込み。

(事業者の声)

- ・農産物を扱っており地球温暖化の影響は大きい。(食材卸売業)
- ・取引先の廃業等に伴い先数減少への対策が重要となる。(金属加工機械卸売業)
- ・米国の関税等の影響で相場下落の危険性がある。(金属卸売業)
- ・営業担当人員の確保により、代表者の現場負担の軽減が課題となる。(鋼材卸売業)

小売業

業況は、仕入価格の大幅な上昇から収益性が悪化しており、業況は悪化している。

今後の見通しとしては、仕入価格の上昇は続くものの、売上の改善を期待しており、業況の改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・仕入価格の上昇と在庫過剰により、収益が減少傾向にある。(水産加工品小売業)
- ・仕入価格が安定しない。(生鮮食料品小売業)
- ・原油価格が高水準で推移している。米国・OPECの動向に注目。(石油類小売業)
- ・既存車のモデルチェンジによる購買意欲の高まりに期待している。(自動車小売業)
- ・外国人観光客が増加傾向にある。(貴金属小売業)
- ・特徴ある品揃えで、価格以外の部分で差別化を図る。(海産加工品小売業)
- ・猛暑による農作物の不作、猛暑のために来店客の減少等の影響が大きい。(生鮮食品小売業)
- ・大型商業施設に顧客が流れている。既存顧客の高齢化が進行している。(衣料品小売業)

サービス業

業況は、深刻な人手不足に加え材料価格の上昇がみられるものの、売上の増加から業況DIはプラス化し改善した。

今後の見通しとしては、売上、収益の増加を期待しているが、材料価格の更なる上昇予想から、悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・顧客の利用頻度が低下している。(日本料理店)
- ・インターネットに対応したサービス提供のため、ホームページの更新等、広告宣伝に力を入れている。(結婚相談所)
- ・材料価格の高騰に対して価格転嫁が課題となっている。(飲食業)
- ・早朝割引時間の延長等により顧客流出防止を図っている。(ゴルフ練習場)
- ・家族葬、近親者のみ等、小規模の葬儀が増加している。(葬祭業)
- ・良質なサービスを提供できるよう人材教育に力を入れていく。(介護支援サービス業)

建設業

業況は、材料価格の大幅な上昇はあるものの、売上の増加から業況DIのプラス幅は拡大した。

今後の見通しとしては、材料価格は依然として上昇を見込むものの、売上、収益の増加からプラス幅の拡大を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・公共工事の閑散期における受注確保が課題となる。(建築・土木工事業)
- ・熟練が必要な業種だが、経験者の求人が非常に困難な状況。(防水工事業)
- ・従業員の高齢化が進行している。(防水工事業)
- ・下請企業の確保に苦慮している。(給排水工事業)
- ・見積り依頼は増加しているが、契約までの期間が長期化している。(建築工事業)
- ・外注費が増加傾向にある。(内装仕上工事業)
- ・業界全体として受注が減少しており、材料費は高騰しているため収益確保が困難。(地盤改良)

不動産業

業況は、仕入価格の上昇、在庫不足がみられるが、売上、販売額は増加しており、業況 DI は引き続きプラス水準を維持している。

今後の見通しとしては、売上、収益の増加を見込むが、引き続き仕入価格の上昇を予想していることもあり、プラス幅の縮小を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・消費増税前の駆け込み需要が増加している。(総合不動産業)
- ・不動産の動きが鈍く、金額はシビア。(不動産仲介・管理業)
- ・郊外のアパートの空室が目立つ。物件の選定が慎重になる。(不動産売買業)
- ・建売や中古住宅の方が動きが速い。(不動産売買・仲介業)
- ・大手建設業者の新築物件が増加しており、20年超の物件の入居率低下が著しい。(不動産売買・仲介業)
- ・仕入の競争が激しく、仕入価格が高騰している。(総合不動産業)
- ・相続時が不動産が動くタイミングとなる。情報収集に努めている。(総合不動産業)

■西部地区

西部では、小売業(▲20.5⇒▲7.2)、サービス業(2.2⇒8.2)が改善したものの、不動産業(17.0⇒7.1)製造業(10.6⇒4.5)建設業(7.5⇒3.6)がプラス幅が縮小したほか、卸売業(▲9.9⇒▲11.4)が悪化したことにより、全産業ベースの業況 DI は前回調査時 4.5 から 1.5 へと 3.0 ポイント、プラス幅が縮小した。

製造業

業況は、受注残の減少などから、業況 DI のプラス幅が縮小したが、プラス水準を維持した。

今後の見通しとしては、売上、収益の改善により、プラス幅の拡大を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・海外向けが好調であり、受注は増加している。(二輪車)
- ・原材料が高騰しており収益を圧迫している。(建設用金属製品、プラスチック製品)
- ・地場産業である茶の製造販売環境が悪化しており、良品質な物でも価格反映されていない。(茶)

卸売業

業況は、売上、収益が減少したことから、悪化した。

今後の見通しとしては、売上などの増加により、改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・九州西日本の豪雨による影響も改善されており、今後は回復が見込まれる。(あさり)
- ・ネット販売の普及により、売上が減少傾向にある。(建築資材)
- ・人手不足が深刻である。(非鉄金属)
- ・猛暑による野菜生産量の減少により価格が高騰している。(農産物)

小売業

業況は、売上や収益が増加したことに伴い改善した。業況DIは依然としてマイナス水準であり、小売業と卸売業は他と比べ景況感の水準が低迷していることから、個人消費の回復は遅いものとみられる。

今後の見通しとしては、売上や収益の増加により、業況の改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・夏の猛暑の影響で、エアコンの販売、修理業務の売上が増加した。(家電)
- ・仕入価格の上昇が収益を圧迫している。(ガソリン)
- ・機械では対応できない「人」の人材育成に力を入れている。(自動車小売)
- ・インターネットによる小売りが主流となりつつある中で、店頭販売での応対、接客に注力している。(衣料品小売)

サービス業

業況は、売上の増加に伴い、業況DIのプラス幅は拡大した。

今後の見通しとしては、売上や収益の増加から、業況DIのプラス幅の拡大を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・オリンピックの影響により、地方でのイベントが増えてきており、売上が増加している。(宿泊)
- ・うなぎの仕入値が上昇する中、メイン以外の料理も充実させていきたい。(飲食)
- ・猛暑により、今年は利用客が減少した。(レジャー)

建設業

業況は、売上、受注などは増加したものの、材料価格の上昇から業況DIはプラス幅が縮小した。

今後の見通しとしては、売上などの増加により、業況DIはプラス幅の拡大を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・民間・公共工事ともに順調である。(総合工事業)
- ・リフォームが順調である。(一般建築工事業)
- ・人手確保に苦しんでいる。(建築工事業)
- ・住宅工事、企業設備投資の件数が減少しており、地域に密着した営業活動を行い売上確保に努めている。(総合工事業)

不動産業

業況は、売上が横ばいであるほか、商品物件の不足もあって、業況DIはプラス幅が縮小した。

今後の見通しとしては、業況DIは横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・商品物件が不足している。
- ・リノベーション事業に注力している。
- ・不動産の動きが鈍く、相談件数は横這いである。
- ・太陽光発電用土地の相談件数も減少している。

【お問い合わせ先】

(一社)静岡県信用金庫協会

電話：054-255-5530

1. 業況(全業種)

	今回調査(2018年7～9月期)						前回調査(2018年4～6月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	3.6%	21.4%	44.2%	24.7%	6.1%	▲ 5.8	3.1%	14.2%	46.4%	29.6%	6.6%	▲ 18.8
中部地区	6.6%	18.2%	49.0%	19.9%	6.3%	▲ 1.3	4.9%	21.6%	44.6%	21.3%	7.5%	▲ 2.3
西部地区	4.1%	20.8%	51.8%	19.5%	3.8%	1.5	3.9%	22.9%	50.9%	19.0%	3.3%	4.5
県内合計	4.5%	20.4%	49.2%	21.0%	4.9%	▲ 1.0	3.9%	20.3%	48.3%	22.3%	5.1%	▲ 3.1

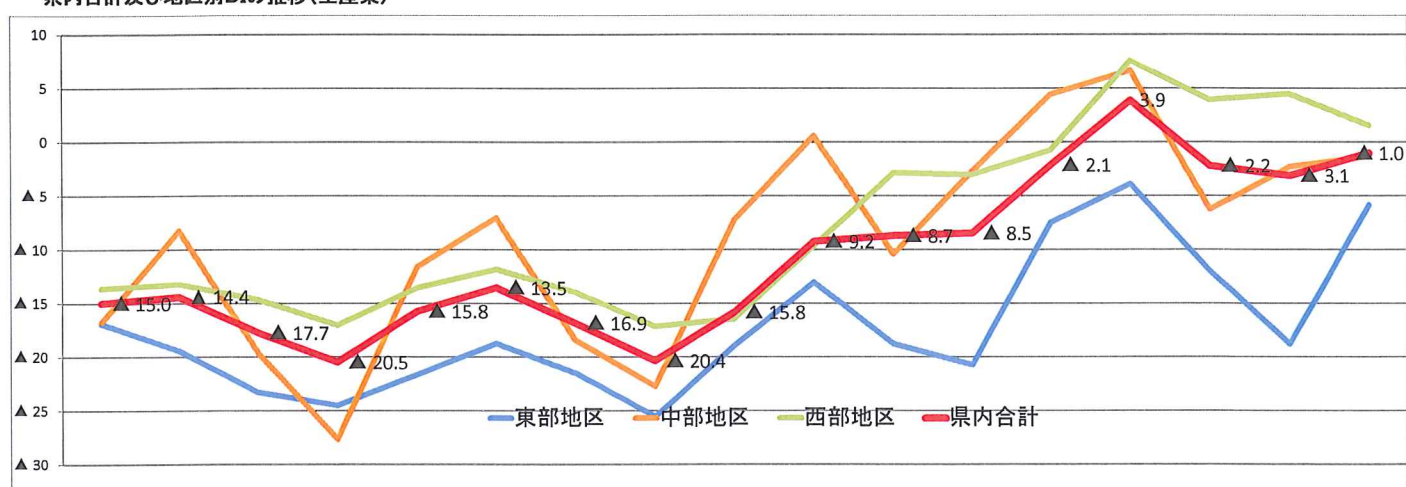
2. 業況予想(全業種)

	2018年10月～12月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	2.5%	19.7%	53.3%	20.3%	4.2%	▲ 2.2
中部地区	4.0%	20.9%	56.6%	14.6%	4.0%	6.3
西部地区	3.7%	20.2%	58.3%	15.9%	2.0%	6.0
県内合計	3.4%	20.2%	56.6%	16.7%	3.0%	3.9

3. 業況(DI)の推移(全業種)

	2014年 7～9月期	2014年 10～12月期	2015年 1～3月期	2015年 4～6月期	2015年 7～9月期	2015年 10～12月期	2016年 1～3月期	2016年 4～6月期	2016年 7～9月期	2016年 10～12月期	2017年 1～3月期	2017年 4～6月期	2017年 7～9月期	2017年 10～12月期	2018年 1～3月期	2018年 4～6月期	2018年 7～9月期
東部地区	▲ 16.9	▲ 19.4	▲ 23.3	▲ 24.5	▲ 21.6	▲ 18.7	▲ 21.5	▲ 25.6	▲ 19.0	▲ 13.0	▲ 18.8	▲ 20.7	▲ 7.5	▲ 3.9	▲ 12.0	▲ 18.8	▲ 5.8
中部地区	▲ 16.8	▲ 8.2	▲ 19.6	▲ 27.7	▲ 11.6	▲ 7.0	▲ 18.4	▲ 22.7	▲ 7.3	0.6	▲ 10.4	▲ 2.7	4.4	6.7	▲ 6.3	▲ 2.3	▲ 1.3
西部地区	▲ 13.6	▲ 13.2	▲ 14.7	▲ 17.0	▲ 13.6	▲ 11.8	▲ 14.0	▲ 17.1	▲ 16.5	▲ 9.6	▲ 2.9	▲ 3.0	▲ 0.8	7.5	3.9	4.5	1.5
県内合計	▲ 15.0	▲ 14.4	▲ 17.7	▲ 20.5	▲ 15.8	▲ 13.5	▲ 16.9	▲ 20.4	▲ 15.8	▲ 9.2	▲ 8.7	▲ 8.5	▲ 2.1	3.9	▲ 2.2	▲ 3.1	▲ 1.0

県内合計及び地区別DIの推移(全産業)



資料 2
・業種別業況

1. 東部地区

	今回調査(2018年7～9月期)						前回調査(2018年4～6月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	4.9%	28.4%	49.0%	15.7%	2.0%	15.7	4.9%	22.5%	47.1%	18.6%	6.9%	2.0
卸売業	0.0%	19.4%	45.2%	35.5%	0.0%	▲ 16.1	0.0%	12.9%	51.6%	32.3%	3.2%	▲ 22.6
小売業	1.2%	13.1%	41.7%	29.8%	14.3%	▲ 29.8	1.3%	10.0%	35.0%	51.3%	2.5%	▲ 42.5
サービス業	3.7%	24.1%	37.0%	25.9%	9.3%	▲ 7.4	3.8%	3.8%	50.9%	24.5%	17.0%	▲ 34.0
建設業	5.3%	17.5%	49.1%	22.8%	5.3%	▲ 5.3	1.8%	15.8%	52.6%	24.6%	5.3%	▲ 12.3
不動産業	6.3%	25.0%	37.5%	31.3%	0.0%	0.0	7.1%	14.3%	50.0%	25.0%	3.6%	▲ 7.1
全業種	3.6%	21.4%	44.2%	24.7%	6.1%	▲ 5.8	3.1%	14.2%	46.4%	29.6%	6.6%	▲ 18.8

2. 中部地区

	今回調査(2018年7～9月期)						前回調査(2018年4～6月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	9.9%	22.5%	38.0%	26.8%	2.8%	2.8	5.6%	25.0%	40.3%	22.2%	6.9%	1.4
卸売業	2.1%	12.5%	54.2%	22.9%	8.3%	▲ 16.7	4.2%	14.6%	56.3%	18.8%	6.3%	▲ 6.3
小売業	4.0%	8.0%	50.0%	28.0%	10.0%	▲ 26.0	2.0%	21.6%	35.3%	29.4%	11.8%	▲ 17.6
サービス業	2.3%	22.7%	52.3%	11.4%	11.4%	2.3	6.8%	9.1%	47.7%	31.8%	4.5%	▲ 20.5
建設業	6.4%	34.0%	40.4%	14.9%	4.3%	21.3	2.1%	31.3%	45.8%	12.5%	8.3%	12.5
不動産業	14.3%	7.1%	66.7%	9.5%	2.4%	9.5	9.5%	26.2%	45.2%	11.9%	7.1%	16.7
全業種	6.6%	18.2%	49.0%	19.9%	6.3%	▲ 1.3	4.9%	21.6%	44.6%	21.3%	7.5%	▲ 2.3

3. 西部地区

	今回調査(2018年7～9月期)						前回調査(2018年4～6月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	4.5%	22.4%	50.7%	18.7%	3.7%	4.5	5.0%	25.7%	49.2%	16.5%	3.6%	10.6
卸売業	1.1%	19.3%	47.7%	21.6%	10.2%	▲ 11.4	2.5%	21.0%	43.2%	28.4%	4.9%	▲ 9.9
小売業	7.2%	16.9%	44.6%	28.9%	2.4%	▲ 7.2	1.4%	9.6%	57.5%	27.4%	4.1%	▲ 20.5
サービス業	2.0%	22.4%	59.2%	14.3%	2.0%	8.2	0.0%	19.6%	63.0%	15.2%	2.2%	2.2
建設業	1.2%	21.7%	57.8%	18.1%	1.2%	3.6	3.8%	23.8%	52.5%	18.8%	1.3%	7.5
不動産業	7.1%	16.1%	60.7%	14.3%	1.8%	7.1	5.7%	26.4%	52.8%	13.2%	1.9%	17.0
全業種	4.1%	20.8%	51.8%	19.5%	3.8%	1.5	3.9%	22.9%	50.9%	19.0%	3.3%	4.5

4. 県内合計

	今回調査(2018年7～9月期)						前回調査(2018年4～6月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI		やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	5.3%	23.6%	48.7%	19.2%	3.2%	6.5	5.1%	25.0%	47.6%	17.7%	4.7%	7.7
卸売業	1.2%	17.4%	49.1%	24.6%	7.8%	▲ 13.8	2.5%	17.5%	48.8%	26.3%	5.0%	▲ 11.3
小売業	4.1%	13.4%	44.7%	29.0%	8.8%	▲ 20.3	1.5%	12.7%	43.1%	37.3%	5.4%	▲ 28.4
サービス業	2.7%	23.1%	49.0%	17.7%	7.5%	0.7	3.5%	10.5%	53.8%	23.8%	8.4%	▲ 18.2
建設業	3.7%	23.5%	50.8%	18.7%	3.2%	5.3	2.7%	23.2%	50.8%	18.9%	4.3%	2.7
不動産業	9.2%	15.4%	56.9%	16.9%	1.5%	6.2	7.3%	23.6%	49.6%	15.4%	4.1%	11.4
全業種	4.5%	20.4%	49.2%	21.0%	4.9%	▲ 1.0	3.9%	20.3%	48.3%	22.3%	5.1%	▲ 3.1

資料 3
・業種別予想

1. 東部地区

	2018年10月～12月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	4.9%	25.5%	57.8%	10.8%	1.0%	18.6
卸売業	0.0%	22.6%	61.3%	16.1%	0.0%	6.5
小売業	0.0%	15.5%	48.8%	27.4%	8.3%	▲ 20.2
サービス業	1.9%	14.8%	55.6%	18.5%	9.3%	▲ 11.1
建設業	5.3%	19.3%	42.1%	29.8%	3.5%	▲ 8.8
不動産業	0.0%	18.8%	59.4%	21.9%	0.0%	▲ 3.1
全業種	2.5%	19.7%	53.3%	20.3%	4.2%	▲ 2.2

2. 中部地区

	2018年10月～12月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	4.2%	29.6%	49.3%	14.1%	2.8%	16.9
卸売業	2.1%	14.6%	60.4%	20.8%	2.1%	▲ 6.3
小売業	2.0%	14.0%	64.0%	10.0%	10.0%	▲ 4.0
サービス業	4.5%	15.9%	56.8%	18.2%	4.5%	▲ 2.3
建設業	6.4%	31.9%	46.8%	12.8%	2.1%	23.4
不動産業	4.8%	14.3%	66.7%	11.9%	2.4%	4.8
全業種	4.0%	20.9%	56.6%	14.6%	4.0%	6.3

3. 西部地区

	2018年10月～12月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	4.0%	22.1%	55.8%	15.6%	2.5%	7.9
卸売業	2.3%	20.5%	52.3%	20.5%	4.5%	▲ 2.3
小売業	3.6%	15.7%	55.4%	24.1%	1.2%	▲ 6.0
サービス業	6.1%	16.3%	67.3%	10.2%	0.0%	12.2
建設業	1.2%	21.7%	68.7%	8.4%	0.0%	14.5
不動産業	5.4%	16.1%	64.3%	14.3%	0.0%	7.1
全業種	3.7%	20.2%	58.3%	15.9%	2.0%	6.0

4. 県内合計

	2018年10月～12月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	4.2%	23.8%	55.3%	14.4%	2.3%	11.2
卸売業	1.8%	19.2%	56.3%	19.8%	3.0%	▲ 1.8
小売業	1.8%	15.2%	54.8%	22.1%	6.0%	▲ 11.1
サービス業	4.1%	15.6%	59.9%	15.6%	4.8%	▲ 0.7
建設業	3.7%	23.5%	55.1%	16.0%	1.6%	9.6
不動産業	3.8%	16.2%	63.8%	15.4%	0.8%	3.8
全業種	3.4%	20.2%	56.6%	16.7%	3.0%	3.9